

哲風会通信

2016. 10 Vol.58.

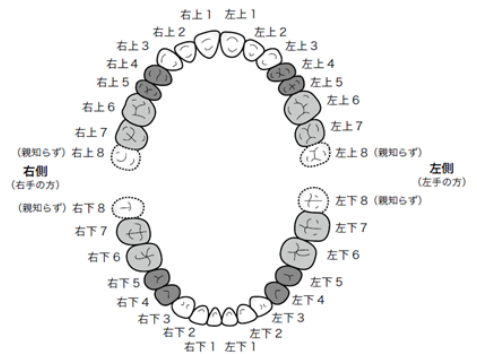
今年の夏はとても暑かったですね。10月になってだいぶ気温が下がってきました。

季節の変わり目は体調を崩しやすいので体調管理に気を付けましょう！！



それぞれの歯の役割

歯は全部で何本あるかをご存知ですか？ 実は32本もあります。最近では親知らずがうまく生えてこない方が多いので親知らずを除いた28本という方もいます。それぞれの歯には大切な役割があります。



前歯

前歯は上下で4本ずつあり、発音に深く関わります。もし前歯がなくなったら、息が漏れて発音がうまくできなくなります。また、食べるときには、食べ物を噛み切るのに前歯を使います。意外と気づかれないのですが、前歯の先端で噛むと、奥歯は当たらなくなります。もし、奥歯が当たっていると、前歯では噛み切れません。また、前歯で噛んでも奥歯が当たったままだと、奥歯にかかる負担は非常に大きくなります。ですから、奥歯を守るためにも、前歯は非常に大切で、互いを守るために非常に重要な関係をもっているのです。

犬歯

前歯のとなりは犬歯で、糸切り歯ともいいます。犬歯は、すべての歯の中で根っこが一番長いのが特徴です。下顎を左右にずらしてみてください。犬歯が当たりませんか？ 顎を横にずらしたときは、犬歯が当たって他の歯は離れます。前歯と奥歯の関係に似ていますが、横に顎をずらしたときには、犬歯で力を受けて、前歯や奥歯に負荷がかかりすぎるのを防いでいるのです。そのため、横から受ける力に負けないように歯の根っこが長く頑丈にできているんですね。

小臼歯

小臼歯は上下左右2本ずつ、合計8本あり、上下の咬み合わせを決める要素があります。歯の形に、下顎が不必要に後ろに（奥に）下がらないようにするストッパーの形が刻まれているのです。もし小臼歯がなくなったら、上下の顎の位置が決まりにくくなり、咬み合わせも不安定になります。咬み合わせが不安定になると、顎の関節にも影響が出てくる可能性があります。

小臼歯は、食事のときに活躍するだけでなく、人間の体のバランスを機能的に保つためにも大事な歯なのです。

大臼歯

もっと奥にいくと、大臼歯(だいきゅうし)といわれる、どっしりとした大きな歯があります。

第一、第二、第三とあり、第三大臼歯は親知らずのことです。第一大臼歯は6歳臼歯、第二大臼歯は12歳臼歯ともいわれます。それぞれ6歳、12歳頃に生えてくるからです。親知らずは、現代人では、埋まってしまっていて出てこなかったり、初めからそのものがない方もいらっしゃいます。退化傾向にある歯です。

第一大臼歯の食べものを噛みつぶす力は最大です。また、上下の歯をしっかりと噛みしめたとき(食いしばったとき)、咬み合う高さを決定し、保つ役割を果たしている重要な歯です。もし、第一大臼歯を失うと噛む力は激減し、抜いた部分を放っておくと周りの歯が移動して咬み合わせが崩れていきます。

歯はそれぞれ役割があって、すべての歯が調和をもって存在します。理由はどうあれ、どれかなら無くしてもいいわけではありません。

歯を守るためには定期的な歯科医院でのメンテナンスがとても大切です。痛みなどが無くても来院してみてください。

今月の担当

むさしデンタルオフィスの薄田です。

暑かった夏も終わりすっかり秋らしくなりましたね。秋といえば食欲の秋・スポーツの秋・芸術の秋などいろいろありますね。私はスポーツの秋ということで、夏から始めているランニングを継続していこうと思います！！

皆さんも楽しい秋を！



医療法人 哲風会
むさしデンタルオフィス

〒010 - 0912
秋田市保戸野通町4 - 8
TEL:018-853-8214
フリーアクセス:0800-800-8461

医療法人 哲風会
ちづ歯科クリニック

〒018 - 1605
南秋田郡八郎潟町川崎字昼寝
233 - 1
TEL:018-875-2801